

対象会社

- ・業種 : 中堅製造業企業向けシステム開発会社
- ・設立 : 13年
- ・規模 : 売上 15億円
社員数 約100名
- ・商品、サービス : CAD/CAMシステム販売、開発 / 製造ライン構築
- ・その他状況 : 案件が溢れているが、急激な成長で人手が不足しがちである

案件概要

顧客が抱えていた課題

以下のアプリケーション開発案件において、納期とアサインメンバーのスキルの間にギャップが生じていた

- ・成果物 社内の製造現場でタフに使用されている3次元CADシステム
集合演算、位相処理など高度な科学技術計算が必要である
入社5年目レベルのCAD製品の品質評価ができる人材が2人とCADシステム開発経験がある入社1年目程度のプログラマーが4人必要な案件である
 - ・納期 6か月(見積もりでは8か月)
 - ・アサインメンバー
PM 1人(入社5年目、システム設計ができるレベル)
SE 1人(入社3年目、機能設計や単体テスト設計ができるレベル)
プログラマー 4人(入社半年、新人研修を修了したレベル)
- ▶
- ・PGメンバーの業務経験が浅く、システム仕様の定義漏れが懸念される
 - ・標準モジュールに関する知識不足から、不要な2重開発による手戻りの可能性がある

- ・目的 上記開発案件において、アサインメンバーを変更せずに納期を守る
- ・期間 3か月
- ・アサインメンバー
ビジネスコンサルタント 1名(2時間/週)

結果

期待された品質の成果物が、3か月前倒し（8か月 5か月）で完成した

- ・メンバーの追加無し
- ・極度な残業無し

副次的な効果として

- ・今回の案件に参画した初級プログラマーの開発レベルが相当向上した
(再利用可能なモジュールの設計を理解し、モジュール間連携を行えるレベルまで)
- ・これ以後の同社の開発時のOJT手法として採用された

課題解決への基本方針

経験が少ない者は判断を仰ぐ

経験が少ない者が問題に直面しているとき、勝手に判断して実行すると、往々にして間違った方向に進み、修正時間が必要となり、結果的に開発効率が下がる。適時に、経験豊富なメンバーが、問題解決のサポートをすることが必要である。

ミスの再発防止を徹底する

折角ミスを訂正しても、時が経ってまた同様のミスを犯しては訂正した意味がない。また、あるPGが犯したミスを別のPGが犯すのも非効率である。よって、ミスを訂正した結果を全員が共有できるようにすることや、PGの得意分野に合った作業を分担させることが必要である。

経験豊富でできる者が考える

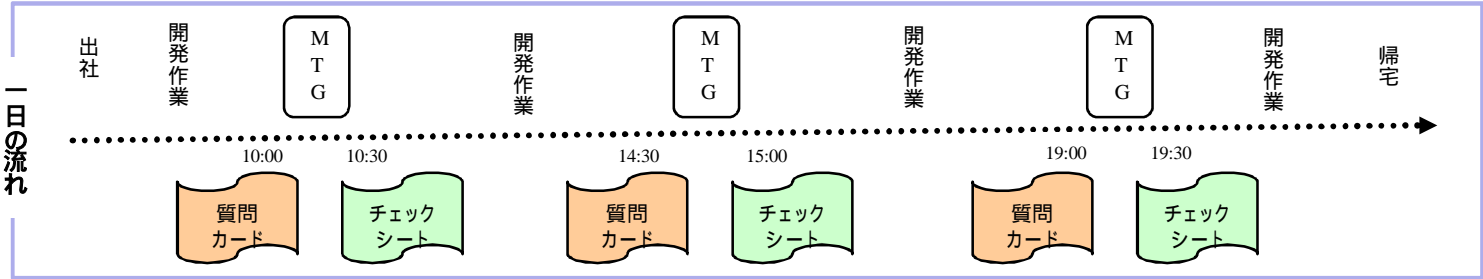
上記 , を実現するための仕掛け(開発フローの工夫やその実行をサポートするツールなど)を考えるのは、PMを始めとする経験豊富で優秀なメンバーである。

具体的な改善内容

経験が少ない者は判断を仰ぐ

頻繁なレビューを実施する
(今回は1日3回15~30分の全体MTGをするという形式を採った)

レビューを効果的に進めるために事前に疑問点を整理しておく
(今回は各PGが各々の質問事項をカードに纏めておくという形式を採った)



ミスが起りやすい個所に、より適切なPGをアサインし直す
(今回は、MTGの最後に次回作業範囲を指示するという形式を採った)

レビュー結果をドキュメントに纏めてPG間で共有する
(今回はチェックシートという形式を採った)

ミスの再発防止を徹底する